

環境推進員だより

発行責任者：大塚 淳

編集責任者：小田島 隆

つばさ館まつり（令和6年11月17日）

今年度のつばさ館まつりは、環境推進員による展示のほか、環境推進員に対する研修会を併せて行いました。本研修会は、例年のようにバスで市外の施設見学を行う形式をとらず、ごみの減量化や環境美化の環境に対する意識を高めていただくことを目的に「つばさ館まつり」に来館いただき、環境推進員企画委員による出展ブースや出展企業の見学、つばさ館の施設見学（自由見学）を行いました。

研修内容

- ①かわごえ環境推進員（企画委員）による出展ブースの見学
- ②出展する企業等の見学、つばさ館まつりの体験
- ③3階見学用通路でリサイクル施設、熱回収施設の自由見学

つ
ば
さ
館

つばさ館では、環境に関する展示や3R体験コーナー、再生家具や再生自転車、古着、雑貨等の実費頒布を行っています。（再生自転車の実費頒布は毎週金曜日10時～（祝日を除く）、再生家具は、毎月1回（水曜日）の抽選での実費頒布となっています。）

ぜひ、つばさ館を訪れてみてください。

所在地 川越市鯨井782番地3

電話 049-239-5053

休館日 月曜日及び祝日・年末年始

開館時間 午前9時から午後5時

リユース品頒布 午前10時～12時 午後0時45分～3時

かわごえ環境推進員協議会 大塚会長 挨拶

日頃より川越市のごみの減量、環境保全活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様に支えられ、かわごえ環境推進員協議会会長の大役を務めさせていただいている大塚です。

さて、長い間、新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動が制限されておりましたが、ようやく感染状況も落ち着き、環境美化活動もコロナ禍前の活動水準まで戻ってきました。

当協議会では、活動方針の一つとして「地域の環境美化活動の推進及び啓発」を掲げており、ご自宅周辺の清掃活動やごみの減量のための啓発において、一人ひとりが、気が付いたところ・できるところから始めていただければと思います。これらの活動が、地域、更には市全体の環境美化につながり、住民一人ひとりが「自分たちの街をきれいにする」という意識を持っていただけるのではないかと考えています。また、皆様から寄せられる活動報告やご意見は、今後の施策にとって非常に貴重な財産です。小さな気付きや、環境改善のためのアイデアが、次の世代にとってより良い環境を築くための大きな一歩になるかもしれません。今後もどうか気軽にお声をお寄せいただければと思います。

環境を守ることは、私たち自身だけでなく、次世代への大切な贈り物でもあります。引き続き、皆様とともに、美しい街づくりと環境保全のために活動を進めていきたいと考えておりますので、地域の環境推進員の活動に対しご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。



南古谷支部活動

市民センターを訪れるお客様を花でお迎えしようとの考えから、春（6月）はペンタス、秋（11月）はパンジーを、30個のプランターに植えます。花の植替えは、環境推進員20数名で行います。

土曜日の朝7時30分からプランター1個に、3株の自分の好きな色の花を選び、それぞれが、自由に植えていきます。水やり当番は1週間単位で、各自治会が交代で行います。花は、半年の間、次から次へと咲き続けます。本当に可愛いです。

支部活動費は、花の苗、肥料等に使っています。



支部活動費の活用方法のご紹介

協議会にて、支部活動費の活用方法についてご質問をいただいたので、活用方法の一例をご紹介します。

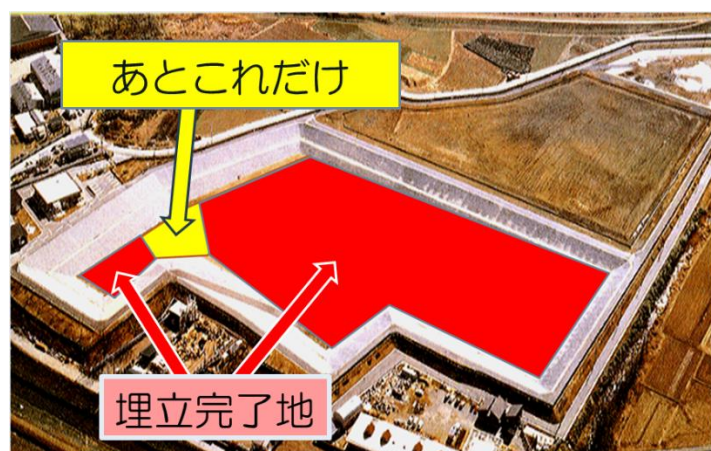
- ・清掃活動等参加者への茶菓子代
 - ・総会資料の作成代
 - ・ごみ袋や軍手等の消耗品購入費
 - ・総会案内・研修会案内の封筒・郵送代
 - ・花の苗の購入費
 - ・啓発用ポケットティッシュ作成代
 - ・研修会のバス代
 - ・啓発用チラシ作成代
 - ・研修会参加者の飲み物代
- 等

川越市のごみ事情

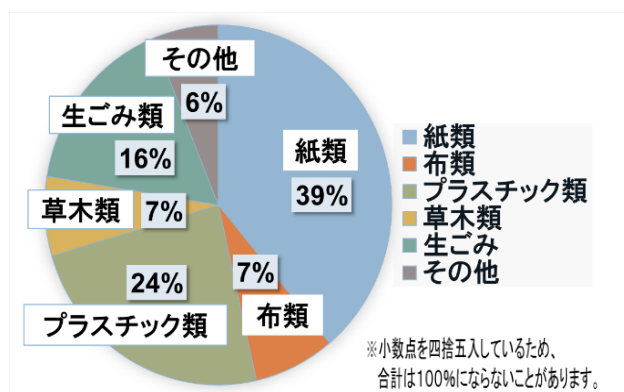
川越市の埋立地（小畔の里クリーンセンター）は90%近く埋まっている！

写真中の赤い部分はすでに埋立てが終わっている箇所です。黄色い部分がまだ埋立てされていない部分で、この部分も毎年少しずつ埋立てられています。

ごみの量が減れば埋立量も減るので川越市民1人1人がごみを減らす取り組みを行い、今ある最終処分場を少しでも長く使うことが大切です。



平塚新田160
平成元年4月竣工
埋立容量
210,000立方メートル
建設費：約12億円
年間経費：約5千万円



可燃分ごみ組成（令和5年度資源化センター）

左のグラフは可燃ごみの内の可燃分の部分をさらに細かくした組成を表したものです。資源物である紙類が39%、布類が7%、プラスチック類が24%で合計70%と大部分を占めています。紙類や布類のうち、ティッシュペーパーや汚れた雑巾等は可燃ごみに分類されるので、この全てが資源物になるわけではありませんが、きちんと分別されていれば、ごみの減量につながります。

役員の紹介（令和6年度）

会長	大塚 淳	（ 第2支部	元町2丁目	）
副会長	白田 正至	（ 第7支部	仙波町2丁目	）
//	小田島 隆	（ 南古谷支部	あゆみ	）
//	松本 幸士	（ 大東支部	寿町1丁目	）
幹事	伊藤 由紀	（ 霞ヶ関支部	的場中組	）
//	吉田 文雄	（ 名細支部	上戸	）
//	成田 敏明	（ 山田支部	上寺山	）
会計	飯田 敏之	（ 第8支部	岸町1丁目	）
//	石井 辰男	（ 高階支部	寺尾第2	）
監事	菅野 勇一	（ 第9支部	脇田新町	）
//	吉田 尚平	（ 霞ヶ関北支部	霞ヶ関北	）

よろしくお願いいたします。



川越市マスコットキャラクター

と き も

かわごえ環境推進員の役割

かわごえ環境推進員は、廃棄物の減量・資源化の推進、廃棄物の適正処理及び地域の環境美化活動等を地域のリーダーとして行うことにより、循環型地域社会の形成と住みよい魅力ある地域づくりを推進します。また、市が行う施策に協力することにより、市と地域を結ぶ重要な役割を担うものとして期待されています。

自治会や子供会等地域の組織や団体と協力しながら地域の実情にあった活動を行っています。

- ①ごみの減量化及び資源化の推進及び啓発に関すること
- ②ごみの分別の指導及び啓発に関すること
- ③資源の集団回収に関すること
- ④地域の環境美化活動の推進及び啓発に関すること

